

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社
2020年1月30日

ベトナムにおける太陽電池パネル用ガラス製造設備の改修完了について

日本板硝子株式会社（東京都港区、代表執行役社長兼 CEO 森 重樹、以下 NSG）は、ベトナムにおける太陽電池パネル用透明導電膜（TCO：transparent conductive oxide）ガラスのフロートラインの改修が完了し、2020年1月19日に火入れ式を行いましたので、お知らせいたします。本フロートラインは2018年5月に発表した「[太陽光パネル用ガラスの製造設備を増設](#)」の一環で、ベトナムで休止中のフロートラインを改修したものです。生産開始は、本年2月を予定しています。

再稼働したフロートラインは、NSG ベトナムグラスインダストリー社（NSG Vietnam Glass Industries Ltd.）、（ホーチミン市近郊）の2基目のフロートラインとなります。本ラインで生産のTCOガラスは、既に稼働中のフロートラインとあわせて米国ファーストソーラー社との長期供給契約にもとづき、同社に供給されます。

NSGのTCOガラスは、成形中あるいは成形直後の高温のガラス表面に導電膜を成形するオンラインコーティングによって製造され、耐久性の高い膜形成により、幅広い用途に使用できます。オンラインコーティングには大量生産に適し、コスト面で優位性を持つなどの特徴があります。NSGは太陽電池パネル用ガラスや他のVA製品の提供拡大により、成長戦略を推進するとともに、再生可能エネルギーの普及に貢献していきます。



火入れ式の様子



NSG ベトナムグラスインダストリー社

日本板硝子株式会社（NSGグループ）は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918年に創業し、グループ従業員数は約27,000人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100カ国以上で製品の販売を行っています。<http://www.nsg.co.jp>